

# はにい

## 日々の授業づくり

平成26年9月4日

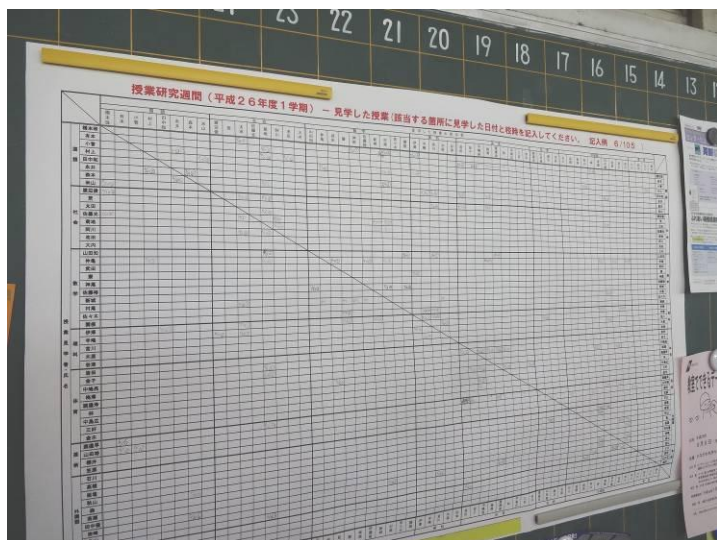
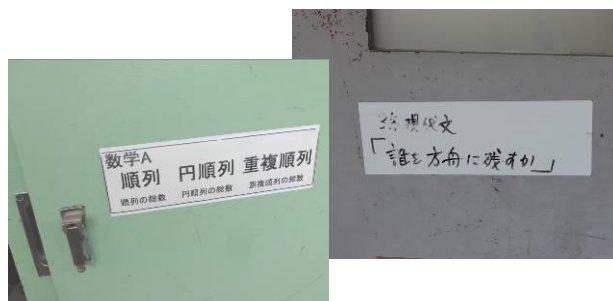


この高校では、講義型の座席配置をやめ、お互いの顔が見えるように、全教室でコの字型の座席配置を基本にしています。

3～4人組のワークを多く取り入れている授業が多く、生徒が主役の学習になっています。生徒は黒板に書きに行ったり、他のグループに聞きに行ったり、アクティブに学習しています。

教室のドアに、今やっている授業の内容がわかるように、教科の単元名などが貼ってありました。授業者が授業を始める前に貼ってるようです。

教室の扉は、授業の扉。



職員室に貼られたこの大きな表。端には、教師の名前が並んでいます。これは、お互いが日々の授業を見合うための記録表です。

A先生がB先生の授業を参観したとすると、A先生の列のB先生のマスに月日と時間が記入されます。

どの先生がどの先生の授業を参観したかが一目でわかります。

こうして教科を越えてお互いの授業を見合い、語り合い、授業づくりをしています。

国語の教室に入っていくと、すぐに先生がプリントを持ってきてくれました。

「今、この課題に取り組んでいるところなんですよ」  
よく来てくれたと言わんばかりの先生です。

『はにい』はコミュニケーションツールです。 みんなで語り合しましょう。  
ご意見・ご感想は → [inochi4027@pref.kanagawa.jp](mailto:inochi4027@pref.kanagawa.jp)